

先生各位

LOX-index検査報告書改訂のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、測定委託先の社名変更に伴いLOX-index検査につきまして、報告書の仕様を一部変更する旨の連絡がありましたので、以下の通り、ご案内申し上げます。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 2021年 4月 1日（木）測定委託先発行分より

- 報告書裏紙の「LOX-index®検査についてより詳しい情報はこちらから」の文言修正
LOX-index®検査の受診者様へ、より詳しい情報提供とアフターフォロー充実のために、詳細の情報を修正いたしました。また社名変更に伴い検査解説ページのURLが以下に変更になります。
<<LOX-index®検査解説ページ>>
<https://www.premedica.co.jp/mypage/lox-index/>

※上記へのアクセスは4月1日より可能になります。
旧サイト：<https://nkmedico.com/lox-index-user/>

〈報告書裏紙イメージ〉

LOX-index®の総合評価について

高リスクの場合	中高リスクの場合	中リスクの場合	低リスクの場合
すでに何らかの動脈硬化性疾患が発生している可能性があります。将来に心筋梗塞/脳梗塞を発症する危険性があります。 医療機関に相談の上、血管の状態も評価をお願いします。	高血圧、高血糖といった基礎疾患や動脈硬化性疾患の危険性があります。 医療機関に相談の上、血管の状態も評価をお願いします。	差し迫って危険性はありませんが、動脈硬化です。高血圧、高血糖といった基礎疾患や動脈硬化性疾患になる可能性があります。 人間ドック・健康診断を契機に受診された方はその結果も踏まえ医師と相談してください。本検査単体で診断された方は、ドクターと相談の上で、2次検査を受けるか、生活習慣の改善に努めてください。	引き続き定期的にLOX-index®を受診し、動脈硬化に伴う危険リスクを測定してください。

検査でリスクが高かった場合・・・

生活習慣の見直しと改善に取り組み、予防への対策に取り組むことをお勧めします。
また、動脈硬化が進行している可能性が高いため、必要に応じて2次検査を受診しましょう。2次検査の結果を受けて、生活習慣の改善などの予防のアプローチを行うか、治療を行うか、さらに精密検査を行うかについては医師の診断をお勧めします。(以下参照)

代表的な二次検査	代表的な精密検査
頸動脈エコー検査 超音波の発信装置を首にあて、動脈硬化の有無や程度を調べる検査です。プラークの有無や血管が狭くなっているかを調べます。	CT検査(コンピュータ断層撮影) X線とコンピュータを使用し、心臓の状態を調べる検査です。
CAVI検査、ABI/PWV検査 動脈の硬さ、詰まりを検査します。手足の生圧比や脈波を検査し、動脈硬化の程度を調べる検査です。血管年齢検査なども呼ばれます。	MRI/MRA検査(磁気共鳴装置) 電磁波を使用し、脳の動脈、血管の状態を検査する検査です。
	心臓カテーテル検査 体内にカテーテルを通し、造影剤を入れ、X線撮影します。血管の状態を調べる検査です。

LOX-index®についてより詳しい情報はこちらから

結果報告書の具体的な見方や解説方法、数値を改善するためのアドバイスなど公開中です。会員登録すると、会員限定のオトクな情報やWeb上での結果閲覧も可能です。
<https://www.premedica.co.jp/mypage/lox-index/> [LOX-index 会員登録](#) [検索](#)

※当検査は、研究検査項目になるため医師の指示で受診いただくことはできません。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。